

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス めばえひまわり		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年1月23日 ～ 2025年1月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験値を増やすための活動が、豊富であり、外出活動において、安全安心に遊べる場をたくさん知っていること。	海や川、プールなどの夏を満喫する行事、いちご狩り、梨狩り、BBQなど春秋を感じ取れる行事、温泉や、クリスマス会など冬の温かさを知ることができる行事など、季節を五感で味わう経験を培わせることを意識しています。	年代層が幅広くなってきたこともあり、子の状態に応じた小集団でのグループ別活動の充実を図り、子の満足感をあげていこうと思っています。
2	児童生徒の成長を長いスパンで関わることでできている事業所であること。遠くに引っ越してでも利用したいと思われる事業所であること。	継続利用のお子様が、めばえグループには多くいらっしゃるっており、小学校一年生から利用していたお子さんが現在高校生となっています。また遠方に引っ越した児童が、土曜日だけでも利用したいと保護者送迎にいらっやっています。子に対する共感、親に対する共感の力は、他社には負けないきめ細やかさがあると思っています。面倒見が良い事業所です。	長いスパンで利用される方が多いので、子の成長を添い遂げる事業所で有りたいと思っています。卒後進路に関しての情報提供及び、相談を受け親身に対応できるようになっていきます。
3	公共交通機関を利用した活動を行っていること。	電車やバスを利用することは必ず進路に直結する目標と捉え、子の状況に応じた、活動計画を練り、小集団でのプログラム実施を行っています。	今後もこの活動は計画的に行っていきたいと思います。例えば、電車に乗る揺れを味わう目標、自分たちで計画して目的地に行く目標など、バラエティ豊かに行っていきたいです。今年は玄海島に船で行きたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催、またペアレント・トレーニングを兼ねた研修会の実施を行っていないこと。	コロナ禍以前は餅つき大会や夏祭りイベントを開催して、保護者交流の機会がありましたが、現時点で再開の目処はありません。またなんのことに保護者が興味関心があり、そのことに対する研修内容を検討するところを知ることから始めていく必要性があります。ただすべての保護者を対象にした研修会の実施は、対象が難しく思えます。	まず同じ障がいを持つ親同士の交流ができる機会の場を提供するための企画立案を行っていききたいと思います。また保護者からのこういったことに悩んでいるかのリサーチを行い、その内容を抽出した内容の勉強会ができたかと思っています。(進路の仕組み・性教育・ネットとの向き合い方等)
2	地域との関わりが、薄いということ	管理者兼児童発達支援管理責任者が、赴任して1年弱と、地域の特性や情報に関して習得していなかったことがあげられます。挨拶はできる関係性は保っていますが、現状としてはそのこと止まりな印象があります。	まずは大きな枠組みとして、早良区地域自立支援協議会研修会に参加し、早良区の福祉事業所における横のつながりの構築に励みたいと思います。小地域への取り組みとして、まずは顔の見える関係性を培う必要性があります。児童生徒と一緒に地域清掃に取り組んだり、その地域で遊んだり、子どもたちを巻き込んだ形で地域形成を目指します。
3	人員不足により、児童生徒に対して細かな部分までのフォローができていないということ	児童生徒に対して、本来ならば子の個に応じた対応・また子の実態に応じた小集団を意識した活動を増やすべきと捉えていますが、全体活動メインのプログラム構成となっており、そのためには人員の補強は必須と思われます。	まずは人員を補強するために、求人媒体へのアプローチの行います。